



## 新ステージへの扉を開ける今日、胸高鳴らせて歩き出そう！

4月3日(水)午前11時より、平成31年度入学式が本学体育館において行われます。

式典では、大森一宏学長が式辞を述べ、来賓の祝辞に続いて、在学生代表者が歓迎の辞を述べます。

吹奏楽部の演奏とアカペラサークル a.c.p の合唱による校歌斉唱が式典を盛り上げます！

### 実り多い大学生活に するために

理事長 入江孝信



新入生諸君、ご入学おめでとうございます。ご父母をはじめご家族の皆様におかれましては、ご子息、ご息女が本学へ進学されますことを心よりお慶び申し上げます。

駿河台大学は駿河台学園を母体とし、昭和62年に創立者であります山崎春之により、創設されました。「情報化、国際化の時代を踏まえて、実社会に役立つ人材、グローバル社会で活躍できる人材等を育成する」ことを目標とし、建学の精神である「愛情教育」の理念のもと、学生一人ひとりの個性を最大限に尊重し、教育・研究及び社会貢献・地域貢献などに取り組み、愛情教育の具現化に日々尽力しております。

さて、現在の日本は1年先をも予見するのが困難な時代ではありますが、平成最後の年である2019年は新元号の制定や、消費税増税による経済状況の変化が予測されるなど、まさに変革の年といえます。本学も4月1日より大森新学長が就任し、新体制となった今、より一層充実した教育・研究環境の整備に努めていく所存でございます。

このような変化の激しい時代においては、新たな知識や技能を習得し、諸問題に取り組み、自主的に考えて実践していく力、更には行動をすることで解決する力を身に付ける必要もあります。これらを踏まえ、学生諸君が立派な社会人として旅立てるよう、教育を通して自主的・自立的に考え、多様な他者と協働をしながら自らの考えやアイデンティティを涵養し、国内外で活躍できる人材を輩出してまいります。

また、高等教育機関としては、目まぐるしい経済社会の変化に対応できる人材育成を果たしていくことが求められています。本学では、学生諸君が社会人として必要とされる基礎的な力を身に付け、継続的に社会で活躍できる人材の育成を目指し、「駿大社会人基礎力」育成のプログラムも用意しています。

さらには、近隣の企業、自治体、金融界、地元メディアなど産官学連携を強化し、学生が地域のあらゆる場面で活動できる環境も提供しています。先月には「ムーミンバレーパーク」がこの飯能の地に開業しました。学業のみならず、大学での行事やクラブ活動、地域での活動などにもぜひ積極的に参加し、友人や地域の方々など多くの人との出会いを通じて、幅広い人脈を作り、学生時代を充実したものにしたいと思っております。

学生諸君が有意義で、希望に満ちた大学生活を送り、駿河台大学に入学して良かったと心から思えるよう、役員、教職員一同惜しみない努力をして参ります。

本学関係者の皆様には、私どもの教育方針にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

### 皆さんの成長を 心より期待しています

学長 大森一宏



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。駿河台大学の教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

本学の教育の基本理念は、「愛情教育」にあります。これは、教職員が「一人ひとりの学生をありのままにみつめ、一人ひとりの夢とその歩みを支援し、自立を促す教育」を行い、豊かな人間性を育てていくことを意味しています。皆さん一人ひとりの可能性を伸ばすための丁寧な教育を行うことは、本学の使命です。4年後には、皆さんが地域の中核的な役割を担う人材として巣立っていただけるように、本学ではさまざまな力を身につけてもらうための教育を用意しています。

もちろん、大学では、多くの専門的知識を学ぶこととなりますが、社会で活躍するためにはそれ以外にも学ぶことがたくさんあります。さまざまな情報を集めて分析する力、他人と少し違う観点から創造的な発想を行う力、相手の意見を尊重しながら自分の考えをきちんと伝える力、他人の立場を思いやりながらその良いところを引き出す力、組織の中の問題点を的確に把握し計画的にそれを解決していく力など、社会の中で活躍していくためには、いろいろな力が求められています。

駿河台大学では、こうした力を「駿大社会人基礎力」と呼んで、すべての授業でその力を養うための教育をすることになっています。大学での学びの場は、教室の中だけでは限りません。本学は、「地域」を学びとその実践の場と位置付け、「地域インターンシップ」や「まちプロ」(まちを元気に、まちで元気にプロジェクト)等の授業を通じて、広く社会に目を向ける機会を設けています。

また、世界のさまざまな国や地域から学生を受け入れ、多様なイベントを通じて、キャンパスが学生同士の異文化交流の場となるように努めています。留学制度も充実しており、世界各地の大学に長期留学できるほか、数多くの短期留学・語学研修の機会を用意しています。

時に一人で読書三昧にふけてみたいという学生には、本学のメディアセンターがふさわしい場を提供しています。サークル活動も活発に行われています。新入生の皆さんは、本学が用意しているプログラムや施設を積極的に利用して、大いに楽しみながら「駿大社会人基礎力」を身につけていってください。私たち教職員は、皆さんの限りない成長を心から願い、サポートしていく所存です。

# 教員役職者紹介&新任教員紹介

## 教員役職者



大森 一宏 学長



副学長  
本池 巧 教授



副学長  
黒田 基樹 教授



副学長  
狐塚 賢一郎 教授



副学長  
朴 昌明 教授



総合政策研究科長  
熊田 俊郎 教授



心理学研究科長  
川邊 譲 教授



法学部長  
長谷川 裕寿 教授



経済経営学部長  
佐川 和彦 教授



メディア情報学部長  
野村 正弘 教授

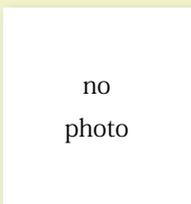


現代文化学部長  
吉野 貴順 教授



心理学部長  
小俣 謙二 教授

## 新任教員



法学部  
清水 知佳 准教授



法学部  
金森 健一 特任准教授



法学部  
大澤 傑 助教



法学部  
宮下 摩維子 助教



経済経営学部  
山崎 義広 講師



メディア情報学部  
竹内 俊彦 准教授



メディア情報学部  
石川 賀一 講師



現代文化学部  
朴 周鳳 准教授



現代文化学部  
小丸 超 講師



心理学部  
馬場 存 教授



心理学部  
安藤 聡一郎 准教授



グローバル教育センター  
須永 隆広 助教

## 2018年度 寄付者ご芳名

本学へのご寄付につきましては、卒業生の皆様、ご父母の皆様、地域・企業の方々及び教職員より多くのご支援をいただいております。学生一人ひとりの多様な個性と夢を尊重し、常に学生の主体的な学びを支援できる教育機関であるよう、より一層の教育環境の整備、学生の修学支援、スポーツ振興等の充実を図り、努力を重ねてまいります。

ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。駿河台大学募金へのご協力に心より御礼申し上げます。

### ・教育振興資金

朝倉 一馬 様	岡本 太市 様	高塚 美保子 様
生田目 一広 様	尾臺 良太 様	竹下 守夫 様
石原 一博 様	小野寺 茂之 様	中島 俊夫 様
市川 紀子 様	加賀山 雄 様	二茅 達夫 様
伊藤 実 様	片居木 茂行 様	橋本 広 様
稲垣 貴史 様	金井 一茂 様	畑本 晃 様
入江 孝信 様	加納 和昌 様	前岡 一幸 様
入野 昌之 様	菊池 義昭 様	宮寺 一樹 様
岩井 俊 様	喜舎場 實 様	吉田 恒雄 様
上田 清人 様	金 容媛 様	匿名希望 様 38名
馬橋 恒巳 様	駒形 幸子 様	
大河原 孝一 様	小山 陽市 様	
大木 和弘 様	坂下 典子 様	
大谷 明應 様	佐藤 利通 様	

### ・スポーツ振興支援募金

匿名希望 様 1名

ご芳名は、五十音順に掲載させていただいております。

引き続き、本学へのご支援を随時受け付けております。本学の  
一層の充実と発展のために、寄付金募集の趣旨にご賛同賜りたく、  
よろしく願い申し上げます。

### ■インターネットによるお申込み

駿河台大学ホームページ

<https://www.surugadai.ac.jp/about/kifu/>

検索サイトを利用する場合は「駿河台大学 寄付」で検索してください。

◎月々1,000円より、毎月もしくは希望する月を指定しての自動寄付も可能です！

### ■振込用紙によるお申込み

電話 042-972-1191 (財務課 9:00~17:00 日曜除く)

メール [zaimu@surugadai.ac.jp](mailto:zaimu@surugadai.ac.jp)

ご氏名とご住所をお知らせください。専用の振込用紙をお送りいたします。

● 本学へのご寄付は、所得税制上の優遇措置を受けることができます。

● 確定申告を行うことで寄付金控除により減税となります。詳細は、上記ホームページをご覧ください。



【お問合せ先】 駿河台大学 財務課 (042-972-1191)

# 輝くキャンパスライフの スタートをサポート

4月8日(月)から9日(火)の2日間にわたり新入生を対象にしたオリエンテーションキャンプ・新入生セミナーを実施します。

これは新入生が一日も早く快適なキャンパスライフを送ることができるよう企画されたもので、例年多くの新入生が不安な気持ちを期待と安心に変えています。

このオリエンテーションキャンプ・新入生セミナーには、各学部中心となり活躍するアドバイザーも参加します。今回は各学部のアドバイザー5人より、新入生へ向けたメッセージをお届けします。

※現代文化学部では、4月5日(金)から7日(日)に、2班に分かれて1泊2日でチームビルディング合宿を行います。アドバイザーは、3月27日(水)の入学前セミナーと、4月8日(月)のオリエンテーションにおいて新入生のサポートをします。

## 法学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

いよいよ皆さんの大学生活が始まりますね。新生活に対し一喜一憂している人も多いのではないのでしょうか? 「喜び」を感じている人は、気持ちはそのままに積極的なアクションを起こしていくことで自ずと自分が思い描く大学生活がひらけていくことと思います。

反対に少し「憂鬱」に感じている人は、オリエンテーションキャンプに同行する私たちが責任をもって憂鬱な気持ちを解消できるよう、全力でサポートしていきます。皆さんの大学生活が実りのあるものとなるよう心から願っています。



法学部 4年  
なみかわ よしき  
**浪川 佳己さん**  
東京都立中野工業高校出身

## 経済経営学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます!

これから大学という新しい環境での生活が始まります。講義やサークル活動、学内アルバイトなど、高校ではなかったような新しい出来事がたくさんあると思います。

初めてのことに不安や戸惑いが生まれることもあるかと思いますが、どんなことにも積極的に取り組めばきっと良い方向に向かいます。

大学生活は、長いようであっという間の4年間です。様々なことに挑戦し、限られた時間を全力で楽しみましょう! 私たちアドバイザーも皆さんの大学生活の始まりを全力でサポートします!



経済経営学部 3年  
すずき そうた  
**鈴木 蒼太さん**  
東京都立杉並工業高校出身

## メディア情報学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます!

いよいよ、新しい大学生活が始まります。私たちアドバイザーとして皆さんに伝えたいことが1つあります! それは「この4年間の中でより多くのことに挑戦して欲しい」ということです。4年間の学生生活は長いようであっという間です。その中で得られる経験は将来必ず役に立つはず。だからこそ今できることや、今しかできないことに積極的に挑戦してほしいです。

私たちの役目は、新入生の皆さんの大学生活の過ごし方をサポートすることです。不安なことや戸惑うこともあると思いますが、私たちに気軽に声をかけてください!



メディア情報学部 4年  
かねこ りょうた  
**金子 諒汰さん**  
埼玉平成高校出身

## 現代文化学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます!

これから始まる新しい生活に、心配事や不安がたくさんあるかもしれません。しかし、大学生活は本当に楽しく、有意義で自由な時間を過ごすことができます。アルバイトや部活、趣味など幅広く活動できます。

「目標を立てて4年間で達成する」などいいかもしれません。駿河台大学には資格や検定を受ける環境も整っているので、自分のため、将来のためにやってみては!

そして、社会人になる前の最後の学生生活を大切にして、何より楽しんでください。分からないことは先輩である私たちがなんでも答えます。いつでも相談してくださいね。



現代文化学部 4年  
こんの ゆうと  
**今野 悠人さん**  
埼玉県立坂戸西高校出身

## 心理学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これからの皆さんの大学生活を楽しいものにするために、私たちからメッセージがあります! それは「いろいろなことにチャレンジしてほしい!」ということです。

サークルや部活動に参加したり、ボランティア活動、資格取得を目指したり、ときには学外でいるいるなことにチャレンジしてください!

小さなチャレンジが大きな自信につながったり、仲の良い友達ができたり、知識が広がったりと今まで見たことのない世界が見えると思います!

先生方をはじめ、私たちアドバイザーは、皆さんが大学生活を笑顔で楽しめるように力になりますので、悔いのない大学生活を送ってください!



心理学部 4年  
よなみね みゆ  
**與那嶺 海優さん**  
沖縄県立那覇西高校出身

## キャリアセンターを活用しよう！

キャリアセンターでは、入学から卒業までの4年間を通じて、就職活動の情報提供や就職ガイダンスの実施、公務員合格講座やキャリアカレッジなど、進路選択や就職活動のトータルサポートを行っています。第二講義棟1階にあり、就職活動を行う3年生、4年生、大学院生だけではなく、1年生、2年生、卒業生もキャリアセンターを利用することができます。

就職活動全般の悩みはもちろん、「将来に対する言葉にできない不安や悩みの相談所」として、専任のアドバイザーによる個別面談を通し、一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしながらより良い進路選択を応援しています。

**キャリアセンター職員が将来に関する些細なことも随時相談にのります。3年生の秋からは、担当アドバイザーといざ面談！！**

**就職活動関連のイベントや求人情報、講座情報(公務員合格講座、キャリアカレッジ)などを掲示しています。**

**1週間に3冊まで貸出しています。就職活動や業界・企業情報に関する雑誌・書籍、SPIなどの試験対策本が充実しています。**

**開室時間** 月曜日から土曜日(日曜・祝日など大学の休日を除く) 9:00~17:00

## 公務員ガイダンス

公務員は、仕事内容、待遇、福利厚生、公共性・安定性からみても、大変魅力のある職業です。駿大生からも人気の高い「公務員試験」に合格するためには、戦略を立てて受験対策をすることが重要です。駿河台大学では、公務員合格講座をはじめ、公務員・資格試験学習室など、皆さんを合格へと導くプログラムを用意しています。

公務員に関心のある学生は、公務員ガイダンスに参加してください！本学の公務員支援制度や公務員合格講座の内容、公務員の仕事や試験の概要、公務員受験生の心構えなどをお話します。

### 【公務員ガイダンス】

2・3年生対象

**日時** 4月10日(水)  
11:00~12:30

1年生対象

**日時** 4月10日(水)  
16:40~18:10

※公務員ガイダンスの詳細は、ポタロウや掲示板でお知らせします。

### 【2019年度 公務員合格講座】

#### ●教養試験対策

1~2年生向け…公務員準備講座

3年生向け………知能分野 [前期・後期]、知識分野 [前期・後期]、直前実践講座

4年生向け………直前過去問対策①②

#### ●専門試験対策

2~3年生向け…専門試験対策講座

※公務員合格講座の詳細内容は、公務員合格講座パンフレットをご覧ください。

## 全学年対象キャリアカレッジガイダンス

資格取得は就職活動の際に自分の武器になります。それだけでなく、資格取得を通じて学生生活をより充実させ、今後の自信にも繋げることができます！

在学中に資格取得にチャレンジしたいと思う学生は、「キャリアカレッジガイダンス」に参加しましょう。当日は各講座の担当講師がブースに分かれて資格の説明会を行います。

#### ●宅建士(宅地建物取引士)

●リテールマーケティング(販売士)検定2級

●日商簿記検定3級 ●秘書検定2級

●ITパスポート試験 ●介護職員初任者研修

●医療事務 ●経営学検定初級 ●保育士

### 日時

4月4日(木)

①15:00~16:30

②16:40~17:40

4月11日(木)

①15:00~15:40

②15:50~16:30

③16:40~17:20

※詳細はポタロウや  
掲示板でお知らせします。



# 2018年度 法務省専門職員採用試験に合格！



飛田 暁さん(受験当時、心理学部4年生・茨城県立那珂高校出身)が、2018年度法務省専門職員(人間科学)採用試験の法務教官区分を受験し、見事、合格・内定となりました。4

月から飛田さんの地元である茨城県にある茨城農芸学院という少年院で勤務しています。

法務教官は、少年院で非行のある少年の指導、教育を行うのが主な仕事です。法務教官を目指したきっかけ、試験準備、後輩へのアドバイスなどを飛田さんに伺いました。

## — 法務教官を目指すようになったきっかけを教えてください

心理学部に入り、犯罪心理学を勉強していくなかで、非行を行ってしまう少年にもそれぞれの事情があることが分かりました。間違いを犯してしまった少年達に寄り添い、彼らの社会復帰に貢献したいと思い、法務教官を目指しました。

## — 試験はどのような内容ですか？

一次試験である筆記試験は、他の公務員試験同様、数的処理や判断推理等の問題があり、

それに加えて、心理学・教育学・福祉・社会学の専門試験もあります。二次試験では面接があり、法務教官という仕事に対する理解度や意気込みを聞かれました。

## — 勉強をする上で気を付けたり工夫したりしたことはありますか？

私は、3年生の春から公務員講座に参加し、試験対策を始めましたが、公務員への道のりは、普通の就職活動よりも長丁場になります。継続して試験対策を行うことは大事ですが、途中でパテてしまわないように気分転換を行うことも重要だと感じました。

また、専門試験対策に関しては、一人で勉強するには限界があるので、先生や公務員講座の講師の方々に質問をして理解を深めました。面接は、事前に法務省出身の先生方に模擬面接をしていただいたので、気持ちに余裕をもって臨むことができました。

## — 将来、どのような法務教官になりたいですか？

施設にいる少年一人ひとりに目を向け、彼らがどのようなかたちで社会復帰することが一番望ましいかを考えられるようにしたいです。

また、同じ施設で働く他の人達と協働し、一人では対応が難しい場面でも助け合えるよ

うになりたいです。

## — 法務省専門職員採用試験を目指す後輩たちへのアドバイスをお願いします

法務教官を目指すのは決して楽ではありません。途中で投げ出してしまうことが何度もあると思います。しかし、駿河台大学には頼れる先生方や講師の方がいらっしゃるの、一人で抱え込まず、時には周りの人に頼って無理のないように頑張ってください。

法務教官は、高い専門性が必要とされるやり甲斐のある仕事です。駿河台大学で学んだことは今後の仕事で活かしていけると思います。しかしその一方で、「教科書どおり」が通用しない場面も少なからずあり、その意味では、これから出会う少年たちや周りの職員に教えてもらうことも多くあると思います。

2018年度は、飛田さんのほかに本学心理学部出身の大学院生2名が法務教官に内定しています。

また、OB、OGも増えてきました。同窓生は何かと相談できる先輩となるはずで、これからも真摯に学びながら、専門性を高め、立派な法務教官に成長してほしいと思います。

心理学部教員一同

Media Center  
NEWS

## メディアセンターより

### 新規パソコン相談員を募集します！



**仕事内容は？** メディアセンター1・2階で、パソコンや周辺機器の操作に困っている人の相談にのり、解決する仕事です。また、環境整備や活用方法を宣伝する広報活動も行います。

**活動時間は？** 基本的に「授業日」と「定期試験期間」が勤務日となります。シフトは9:30~18:30を5つのシフトに分け、1コマ2時間ずつ分担します。また、1コマ2名体制となるようシフト調整を行い、1週間に2コマ以上の勤務をお願いしています。

**パソコンの知識はどの程度必要？** 日常でパソコンを使用しているレベルで問題ありません。自分から積極的に情報を収集し、問題を解決しようとする力や明るく元気に対応する姿勢が重要です！相談員として最低限必要となる知識については、はじめの研修期間に先輩が伝授するので、そこでしっかり覚えれば心配ありません。

### 学部学科は問いません！こんな学生大歓迎！

- ・新しいことにも積極的に取り組むことができる人
- ・誰かの役に立ちたいと思っている人
- ・人とコミュニケーションを取りながら問題解決ができる人

募集説明会は4月下旬の昼休みを予定しています。募集説明会の日程や実施場所などの詳細は4月上旬にポタロウにてお知らせします。興味のある方は説明会にご参加ください。



### 学生寮が全室 Wi-Fi 完備になりました



2019年2月、学生寮(フロンティアタワー、S館及びスポーツ館)全室へのWi-Fiルータ設置が完了し、今まで以上に快適なインターネット接続環境を提供できるようになりました。

本設置作業は職員の指導のもと、普段メディアセンターで活躍するパソコン相談員の学生が行いました。これにより寮内のインターネット接続環境が安定・改善し、例年発生していた通信機器の誤設定・誤接続によるトラブル件数が減少しています。

本学では、2017年に学生寮へ最大1Gbpsの専用光回線を4回線増設の上、ウイルス対策や悪意のある広告の表示を防止する機能を追加提供するなど、学生寮のインターネット接続回線環境の改善に努めています。



2018年度、長期派遣留学生として本学と協定を結ぶ聊城大学（中国）、ミュンヘン大学（ドイツ）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）の3校へ、6人の学生が1年間、2人の学生が半年間、留学しました。今号では、異国の地で1年間を過ごした学生たちから、体験報告を寄せてもらいましたので紹介します。

なお、グローバル教育センターでは、「国際交流パーティー」や、「留学経験者の話を聞く会」など、留学経験者から直接話を聞く機会も

設けています。異文化交流や外国での生活に興味のある学生は、奮ってご参加ください。

また、今号に掲載できなかった体験報告は、次号にも掲載の予定です。お楽しみに!

●「国際交流パーティー」：4月16日（火）16：40から、大会館4階

●「留学経験者の話を聞く会」6月14日（金）12：30から、第二講義棟5階グローバル教育センター

## ミュンヘンからの便り33

### 相手を尊重しながら、仲良く付き合っていこう

ミュンヘン大学(ドイツ)交換留学生 | ソン ヒ  
経済経営学部2019年3月卒業生 | SUN HUI

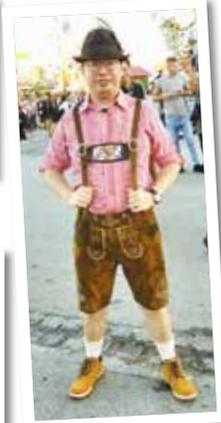
ドイツでは、クリスチャンが多いです。クリスチャンは毎週の金曜日に必ず魚をメイン料理として食べます。最初にドイツに来た頃に気が付いたのは、ドイツでは町の中心の建物がほとんど5階か6階の建物であるということです。一番高い建物は教会です。その理由をドイツ人の友達に聞いたら、ドイツ人は空に神様が存在していることを信じて、住宅が教会を越えることが許されないと聞きました。やはりヨーロッパの国だから、神が絶対的な存在の

ようです。相手の宗教を尊重しながら、仲良く付き合っていこうと思いました。

9月にウィーンで留学をしている栗原あずみさん(留学当時、法学部3年生)がミュンヘンにきました。そして一昨年駿河台大学へ留学してきたダリアさんを誘って、3人でOktoberfest(オクトーバーフェストミュンヘンビール祭り)に行きました。行く前に、私たち全員ミュンヘン伝統の民族衣装を購入して、それを着て祭りに行きました。すごく楽しかったです。



授業風景



オクトーバーフェストの衣装



食事会(一番左がSUNさん)

## アメリカ留学日記32

### 積極的に自分でやってみた

カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)派遣留学生 | ひるた あすか  
心理学部3年 | 蛭田 明日香

留学中は、機会がなければ訪れることがない場所を、積極的に訪れるように意識しました。アルカトラズ島やアッパーキャニオンでは、どちらも日本人ガイドのいるツアーに参加するのではなく、直接現地へ行き、それぞれの場所のツアーに参加しました。つまり、見学する場所のチケットを自分で手配し、現地へ行くまでの交通機関のチケットなども自分で確保するという事です。大変でしたが、自分で次の行動を判断したり、どんな説明をしているかを理解したりすることは、リスニングにとっても有効だったように思います。

また、何か困った時や質問も現地のガイドさんなどにするので、人と話す機会も多くなり、綺麗な景色を見たり、アメリカの歴史について知ったりしただけでなく、英語能力の向上にも役立ちました。

日本とは慣習も言葉も違うことで、カルチャーショックを受けることもありましたが、英語学習は勿論、現地や違う国の友達ができ、そこでしかできない体験や景色を見ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



右が蛭田さん



アッパーキャニオンにて



## アメリカ留学日記33

### みんな優しくて他国の文化を受け入れようとしていた

カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)派遣留学生 | ほ とづか りょうた  
現代文化学部4年、クラーク記念国際高校出身 | 保戸塚 亮太

私はアメリカのカリフォルニア・サンディエゴに1年間留学をしていました。

そこで世界中の人と友達になれたことが私の印象に残ったことです。色々な国からアメリカに留学に来ていて、私は多くの文化を学ぶことができました。例えば、日本人にとって当たり前である、「いただきます」や「ご馳走さま」が無かったり、公共交通機関で通話をして良いなどの些細なところで文化の違いを感じました。しかし1つ言えることは、皆、優しくて他国の文化を受け入れようとする事です。私自身も他国の

文化を受け入れられました。そういうことを学べたのは私にとって勉強になりました。

私はこの留学で英語の勉強以外にも多くのことを学ぶことができました。それは友達についてや、文化や日々の生活について、あらゆることを学べました。

私はこの留学で他国に対しての価値観が変わりました。今までに出会えた他国の友達には感謝しています。一生の宝物だと思います。これからも他国の人々との交流を深めていきたいと思っています。1年間有意義に過ごせた留学でした。



クラス(2列目中央が保戸塚さん)



グランドキャニオン



ショッピング

3月17日(日)、平成30年度特定非営利活動法人飯能市体育協会表彰式が、飯能市民会館小ホールにおいて開催されました。

### 受賞者一覧

#### 【最優秀選手賞】

- ・若林 康太さん(陸上競技部・現代文化学部4年・新潟産業大学附属高校出身)
- ・吉田 佳純さん(陸上競技部・現代文化学部3年・岐阜県立岐阜商業高校出身)

#### 【優秀選手賞】

- ・工藤 大晟さん(陸上競技部・現代文化学部2019年3月卒業生・秋田県立大館国際情報学院高校出身)
- ・渡邊 ひかるさん(陸上競技部・現代文化学部2019年3月卒業生・富士市立高校出身)
- ・松本 聖華さん(陸上競技部・法学部2019年3月卒業生・埼玉県立坂戸西高校出身)
- ・伊谷 菜奈さん(陸上競技部・現代文化学部4年・静岡県立袋井高校出身)
- ・後野 詩衣菜さん(陸上競技部・法学部2年・京都府立乙訓高校出身)
- ・宇都宮 菜さん(カヌー部[スラローム]・現代文化学部3年・愛媛県立野村高校出身)

#### 【優秀チーム賞】

- ・駿河台大学陸上競技部
- ・駿河台大学男子ホッケー部
- ・駿河台大学女子ホッケー部



#### 注目!

数多くの選手、団体が表彰を受けることができました。選手の皆さん、おめでとうございます。各選手・団体の今後のさらなる発展にご期待ください。

## 大学の中で働いてみませんか?

### スキルアップと経済支援を目的とした「ワークスタディ支援制度」

大学には、授業を教える教員や事務職員以外にも、多くの学生スタッフが働いています。本学では本人のスキルアップと経済支援を目的とした「ワークスタディ支援制度(通称ワクスタ制度)」を導入しています。事前に学生支援課にて登録いただき、登録学生を対象に学内の様々な部署が求人を行い、お互いの条件が合った学生に学業に支障のない範囲で仕事をお願いしています。

- アルバイトが初めて。まずは学内で経験したい!
- 授業のすきま時間をうまく使って働きたい!
- 大学での仕事に関心がある! など

そのほか、授業や部活が最優先だから学外ではアルバイトできないなあ…と考えているみなさんも、ぜひいっしょに働きましょう!

#### 申込方法

- 登録
- 1 学生支援課へ登録カードを提出
- 2 求人に応募
- 3 面接選考
- 4 採用決定
- 5 仕事開始!

**必要書類** ご父母(収入の多い方)の収入を証明する書類(源泉徴収票のコピー等)  
※経済支援を目的としているため、奨学金と同様に家計基準の制限があります。  
給与所得者の場合: 年収1千万円以下

#### どんな仕事があるの?

授業のサポート、公開講座の受付・案内、パソコン相談員、大学の広報業務、事務作業のサポートなど。毎週・毎月の定期的な仕事のほかに、時期によっては1日~1週間の短期の仕事もあります。

学生スタッフ  
募集!!



ワクスタ制度について詳しくは、QRコードからワクスタ制度の紹介ページをご覧ください。



## Book de 募金 募金状況のご報告

本学では、経済的事情で学業の継続が困難な学生を支援するため、2012年度より「駿河台大学学費支援基金」を設立しました。

Book de 募金は「駿河台大学学費支援基金」の原資とするため、皆様から読み終えた書籍、文庫、コミック、DVD等をご提供頂き、協賛運営会社である嵯峨野株式会社に売却の上、その売却益をご寄付頂くプロジェクトとして、2013年8月より開始しています。

皆様からの数多くのご支援により、2019年1月末時点でのご寄付は次のとおりとなっております。

引き続き、皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

#### Book de 募金 募金状況(2019年1月末現在)

ご寄付頂いた冊数	売却益(寄付金額)
25,922冊	458,570円



Book de 募金については学内に回収ボックスを設置すると共に、ホームページ、フリーダイヤルからも随時受付をしております。

遠方の方でも、5点以上から、全国どこでも無料で宅配業者が回収に伺います。ご自宅に不用になった、本・DVDがありましたら、ぜひともご協力を頂きたく、お願い申し上げます。

#### 学内の回収箱

##### 古本回収ボックス設置場所

第二講義棟1F ロビー及び学生ラウンジ  
本部管理棟1F 財務課前



#### 学外からのご寄付のお申込み(5点以上から送料無料で自宅からご寄付頂けます)

**ホームページより申込** <http://kishapon.com/surugadai/>  
(運営協賛会社の嵯峨野株式会社のホームページとなります)

**お電話での申込** ☎0120-29-7000  
(受付時間 平日9:00~18:00)

携帯・PHS利用可 おかけ間違いにご注意ください。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

#### <お問合せ先>

駿河台大学 財務課 ☎042-972-1191

✉ zaimu@surugadai.ac.jp



## 資格試験合格体験記 司法書士試験に合格！

本学法学部では、2018年度、難関資格である司法書士試験の合格者を輩出しました。司法書士は、合格率が例年3～4%という非常に狭き門であり、合格はまさに快挙といえます。今回は、合格者の法学部4年生小原勇志さんに合格の体験談を伺いました。

—司法書士に挑戦しようと思った理由やきっかけを教えてください

以前在籍していた専門学校にいたときから法律に興味があり、宅地建物取引士、管理業務主任者、行政書士等の資格を取得していました。大学で法律を深く学んでいくうちに、難関である司法書士試験にチャレンジしてみたいと思い挑戦しました。2回目の受験で合格することができました。

—勉強方法や試験合格の勝因を教えてください

授業を受けていて、わからないことや疑問に思ったことは授業後に必ず先生に尋ねていました。また、空き時間にはメディアセンターで自主勉強を行い、予習復習のクセを付けました。法律は内容が多岐にわたり一見関係していないように思っても実は繋がっていることがたくさんあります。そのため、満遍なく学んでいくことが大切です。

—努力したことや苦労したことを教えてください

知識をただ暗記するのではなく、根拠まできちんと理解するよう努力しました。また、イメージが掴みにくい内容を覚えるこ

とは苦労しました。いろいろな知識を身に付けるためにも、日頃からニュースを見たり新聞を読んだりして時事問題にも触れておくとうれしいと思います。

—今後挑戦したいことはなんですか

将来、法律の知識を存分に活かせる裁判所事務官になれるよう、昨年の夏頃からは大学で開講されている公務員講座を受講しています。法律の問題以外にも数的処理もあるので、若干苦戦していますが、日々勉学に励んでいます。

—司法書士試験を目指す後輩の皆さんへのアドバイスをお願いします

些細なことでもわからないことは質問をしたり調べたりすることが大事です。積極的に質問をすることで自分の知識も深まります。また、本番で集中力を保つコツとしては、普段勉強するときに実際の試験時間に合わせて勉強を行うことです。リズムを掴むことができ、当日のペース配分の練習にもなります。日々の努力の積み重ねが力になると思います。



資格取得奨励金授与式の様子  
左：小原さん・右：吉田恒雄前学長(2019年1月18日撮影)

## 健康 相談室

からだとこころの救急箱  
カウンセラーのリレーコラム  
⑳  
何かを選ぶということ

4月は新年度の始まりです。進学や就職などで、環境が変わる人も少なくありません。

環境の変化は、ワクワクするのと同時に思いのほか疲れものです。「できれば、以前に戻りたい」と思う人もいるかもしれません。

でも、この場合の環境の変化は、進学先なり、就職先なり、「何かを選んだ」結果です。そして「何かを選んだ」ということは、「それ以外を選ばなかった」ということです。選ばれなかった可能性(選択肢)は失われま

す。そのため、大事な選択であるほど「痛み」を伴うことも少なくありません。後から、気持ちが揺れたり、後悔したりすることもあります。

だからといって、何も「選ばなければ」心穏やかに過ごせるかと言え、そんなこともあります。もちろん、とりあえず保留にして、時間をかけて選んだほうが良いこともあります。しかし、タイムリミットがあったり、タイミングが大事なものであったりすると、「選ばなければ」時が過ぎ、結果的に選択権を放棄したことになります。

進学や就職のみならず、今日何時に起きるか、何を着るか、何を食べるかなど、生きるということとは、その大小に関わらず選択の連続です。選んで、行動して、振り返って、また選んで……。持ち時間のある限り、その繰り返しです。そして「自分で選ぶこと」、その「結果を受け入れる(責任を持つ)こと」は自立することだともいえます。その上で、人を頼ったり、人に任せたり出来るようになること、より生きやすくなります。

ある選択をして後悔したとしても、なかったことにはできません。でも、次の新しい選択をすることはできます。時間は前に進んでいます。

もし、迷ったり、前に進めないと感じたら、信頼できる人に相談してみてください。健康相談室でも相談に応じています。

健康相談室 カウンセラー 有田博昭



## 住民異動の臨時出張窓口を大学内に開設します

飯能市役所市民課による住民異動の臨時出張窓口を大学内に開設します。

ご入学に伴い飯能市内に転入された方、もしくは飯能市内で転居をされた方で、住民票の異動手続きをされる方は、右記の日程で開設しますので、是非ご利用ください。

**開設日時** 第1回：4月17日(水) 12:00～17:00  
第2回：4月25日(木) 12:00～17:00

**場 所** 第二講義棟1階正面玄関口ピエ

**持参する物** ①転出証明書(地元の市役所の市民課などで転出の届出をして発行されるもの。ただし、飯能市内での転居の場合は不要です。)  
②本人確認書類(学生証、健康保険被保険者証等)  
③マイナンバーの「通知カード」または「マイナンバーカード」

【住民票の異動手続きに関するお問合せ】 飯能市役所市民課 電話直通042-973-2112